

令和元年度第1回宮崎市子ども・子育て会議 議事録

日時:令和元年8月22日(木)

14:00~15:40

会場:宮崎市役所 本庁舎 4階
災害対策本部室

次 第

- 1 開会
- 2 説明
(1) 宮崎市子ども・子育て会議について
(2) 宮崎市子ども・子育て支援プランの点検及び評価について
- 3 報告
(1) 宮崎市子ども・子育て会議 部会の開催状況について
- 4 議 事
(1) 各部会からの提案議題
 - ①計画推進部会
・平成30年度推進施策の点検及び評価について
 - ②子育て支援推進部会
・平成30年度地域子ども・子育て支援事業(11事業)について
 - ③教育・保育推進部会
・平成31年度教育・保育施設の施設数及び定員について
・認定こども園の今後の認可方針について
- 5 その他
(1) スケジュールについて
- 6 閉会

議 事 録

【開会】

進 行 ただいまより、令和元年度第1回宮崎市子ども・子育て会議を開催する。

開催にあたり、高島福祉部長がご挨拶を申し上げます。

《部 長 挨 拶》

資料は、事前にお送りしている資料を用いて進めさせていただきます。

本日の会議は、過半数以上の委員の皆様にご出席いただいていることから、会議が成立していることをご報告申し上げます。

なお、本日は事務局として、子育て支援課、保育幼稚園課、親子保健課、学校教育課、生涯学習課が参加をしている。

《事 務 局 挨 拶》

本日は、第1回目の全体会であるため、出席委員の皆様からも一言ずつご挨拶を賜りたい。

《委 員 挨 拶》

それでは、子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、これからの議事進行は厚地会長にお願いをする。

【2 説明 / (1) 宮崎市子ども・子育て会議について / (2) 宮崎市子ども・子育て支援プランの点検及び評価について】

《事務局より資料1-1~資料1-3を説明》

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。

※質問・意見なし※

【3 報告 / (1) 宮崎市子ども・子育て会議 部会の開催状況について】

《事務局より資料2を説明》

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。
※質問・意見なし※

【4 議事 / ①計画推進部会 / 平成30年度推進施策の点検及び評価について】

《事務局より資料3を説明 ・ 二見副部長より補足説明》

『推進施策 1-(1)子どもの健康の保持と増進』：概ね順調である

『推進施策 1-(2)子どもの最善の利益の確保』：概ね順調である

『推進施策 1-(3)障がいなど特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実』：あまり順調でない

『推進施策 1-(4)安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備』：概ね順調である

『推進施策 2-(1)妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援』：概ね順調である

『推進施策 2-(2)地域における子育て支援の推進』：概ね順調である

『推進施策 3-(1)ワーク・ライフ・バランスの推進』：概ね順調である

『推進施策 3-(2)ひとり親家庭の自立支援』：概ね順調である

『推進施策 4-(1)教育・保育内容の質の向上』：概ね順調である

『推進施策 4-(2)認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進』：概ね順調である

以上のとおり、10の推進施策のうち「概ね順調である」と評価した施策が9つ、「あまり順調でない」と評価した施策が1つとなったため、全体としては、「概ね順調である」と評価している。

部会で出た意見としては、「3-(1)ワーク・ライフ・バランスの推進」のところでは、子育て世代も働かせることを念頭に置いているため、働くことを支援する施策が中心になっているという意見や、10月からの保育の無償化について、制度が難しいので、保護者を対象とした広報や周知方法についての質問があり、また、保幼小連携については、保育園、幼稚園等と小学校との連携がよくできているという意見があった一方で、小1だけでなく学校全体として取組めるとよいという意見もあった。

計画推進部会の点検・評価の資料は、第一期のプランのスタート時から検討や修正を重ねて現在の形となっているが、第一期プランの策定時とは変わってきていることもあるし、今後も、新しい委員の方にもわかりやすいように見直しを重ねてほしい。

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。

委 員 『推進施策1-(3)障がいなど特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実』について、以前から評価が低く、今回の点検・評価でもこれだけが「あまり順調ではない」という評価だった。障がいのあるお子さんへのサポートが必要とされている状況があると思うが、そのような中で、成果

指標「③スクールサポーター派遣数」がH30実績61人からH31年度で56人に減っているのはなぜか？

事務局 H31年度の現時点でのスクールサポーターの派遣数は、59人。学校からも要望を受けているので、配置に努めているところ。

委員 『3-(2):ひとり親家庭の自立支援』の点検・評価の意見をまとめた資料に「母子寡婦福祉協議会の会員数が減っているのに、協議会への補助事業の支出が変わっていないことに疑問を感じる」という部会の委員からの意見が載っているが、このような意見が出たことは残念であるし、どのような趣旨での意見なのかを伺いたい。

事務局 母子寡婦福祉協議会の会員数の増減に関わらず、母子会には事業をしっかりやっていただいていると考えている。

委員 資料3に掲載されている部会の委員からの点検・評価の意見については、部会で実際にこのような議論がされたというわけではなく、部会での事務局の説明及び配付資料、部会での議論を経て、それぞれの委員が評価コメントとして最終的に記入し、事務局に提出したもの。計画推進部会でこういう議論をしたということではないことを補足説明しておく。

委員 発達が気になるお子さんの対応について、悩ましく感じている。そういうお子さんがいたときにどのように対応すればよいか。

事務局 1歳半健診、3歳半健診を実施し、健診事後教室の事業や総合発達支援センターの事業を通じて、発達障がいのお子さんとその家族の支援を行っている。

委員 乳幼児期は、総合発達支援センター「おおぞら」があるが、小学1年生に上がってから発達障がいがあった場合に、相談するところに困ることがある。

委員 外遊びを支援するNPOの活動の中で、小児科や発達支援センターからの紹介で来られる親子がいる。民間でもこういう活動をしている。

会長 他に質問等ないので、計画推進部会からの報告のとおり承認してよろしいか。
《意義なし》報告のとおり承認する。

【4 議事 / ②子育て支援推進部会 / 平成30年度地域子ども・子育て支援事業（11事業）について】

《事務局より資料4-1、資料4-2を説明 ・ 片野坂部会長より補足説明》

子育て支援推進部会では、資料4-1の資料と事務局からの説明に基づき、11の「地域子ども・子育て支援事業」の点検・評価を行った。部会では、資料4-2にあるように、委員から様々な意見・質問をいただき、充実した議論を行った。これらの議論を行った結果、子育て支援推進部

会全体としては、全ての事業について、概ね順調であるとしている。

部会での点検・評価では、実績の数字を見て判断することが多いが、少子化が進んでいく中で数字を伸ばすことだけが目標ではなくなっているように感じる。今後は、事業の中身の充実度で評価していくことも必要ではないかと思う。

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。

委 員 子ども・子育て支援新制度において、利用者支援事業はとても重要。以前から言っているように、成果指標が実施施設数だけで、相談件数が出てこないのはどうかと思う。

事務局 委員の言われるとおり、現行のプランでは施設数を目標として掲げ、目標施設数については、平成30年度までに達成したところ。第二期プランに向けては、成果指標の設定についても、今後検討していきたい。

委 員 利用者支援事業の相談と地域子育て支援拠点事業の相談が分類しづらいという話は以前から聞いているところ。子育て支援推進部会においては、地域子育て支援拠点事業の育児相談件数の資料を事務局に用意してもらった。それを見ると、離乳食や教育保育施設の入所に関する相談が件数としては多いという状況がわかった。

委 員 貧困世帯やひとり親世帯への支援事業を行っており、出産を控えた妊婦さんに赤ちゃんを迎えるために必要な物資を提供したり、出産後はおむつやミルクなどの支援をしたりという活動を行なう中で、保健センターとも連携しながら事業を行っているところだが、担当職員が異動で変わると、活動内容をよくわかっていないと感じることもある。また、生後4ヶ月を過ぎて、体重が順調に増えていると、「後はよろしくお願いします」という感じで、行政は手を引いてしまうことがある。また、虐待児童の対応について、児童のシラミの状況がひどくなっているのに、行政の関わりが薄くなっているケースもあつたりする。要保護児童対策協議会の動きもよくわからない。

事務局 2022年度までに子ども家庭総合支援拠点を全市町村に設置することが義務化されたが、本市においても、設置に向けた検討を今年度からスタートさせる。拠点の設置にあたっては、職員の専門性の向上も含めて、虐待対応の充実に努めたい。

委 員 子育て世代包括支援センターについて、お聞きしたい。

事務局 本市における子育て世代包括支援センターは、宮崎市保健所内に1か所、清武総合支所内に1か所の計2か所設置しており、母子保健コーディネーターが産前・産後のサポートを行っている。

会 長 他に質問等ないので、子育て支援推進部会からの報告のとおり承認してよろしいか。
《意義なし》報告のとおり承認する。

【4 議事 / ③教育・保育推進部会 / 平成31年度教育・保育施設の施設数及び定員について / 認定こども園の今後の認可方針について】

《事務局より資料5-1～資料7を説明 ・ 高妻副部会長より補足説明》

教育・保育推進部会では、資料5-1と資料5-2の平成31年4月の教育・保育施設の施設数及び定員について、順調に進んでいると評価し、資料6の認定こども園の移行方針について、承認とした。

また、部会では、資料7のように、委員から多くの意見をいただき、充実した議論を行った。今年度も待機児童解消と並行しての保育の質の向上、また今後は幼児教育・保育の無償化の影響を考慮した第二期プラン策定に向けて、議論を進めていく。

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。

※質問・意見なし※

会 長 質問等ないので、教育・保育推進部会からの報告のとおり承認してよろしいか。
《意義なし》報告のとおり承認する。

【5 その他 / (1) スケジュールについて】

《事務局より資料8を説明》

会 長 ただいまの説明について何かご質問やご意見等はないか。

※質問・意見なし※

会 長 その他、全体を通して何かご質問やご意見等はないか。

委 員 委員の任期が8月で交代となる。毎年、4月に団体内の役職交代等で委員の一部が入れ替り、1回目の会議では基本的な説明と委員の自己紹介があって、8月にまた委員が入れ替ると、また同じ話をすることになる。任期の区切りは、年度初めにできないのかという話を以前からしている。それは難しいという話は聞いているが、意見として申し述べておく。

委 員 配付資料について、事務局職員の氏名も記載してほしい。後で、何か問合わせたいことがあったときに担当課の職員の氏名がわかると助かるのでご検討願いたい。

【閉会】

進 行 会長の議事進行、委員の皆様のご協力に感謝する。
本日の会議の内容について、会議録も含め市のホームページに掲載させていただく。
以上をもって、「令和元年度第1回宮崎市子ども・子育て会議」を終了する。

以上